

令和7年度第6回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	令和8年1月20日（火） 午後2時00分～午後3時00分
開催場所	滝川市役所3階 301会議室
出席状況	<p>【委員】</p> <p>出席：高瀬委員長、長澤副委員長、板谷委員、大崎委員、金子委員、山西委員 欠席：松田委員</p> <p>【事務局】</p> <p>くらし支援課 田上課長、種田課長補佐、米内係長、目黒主任級主事、岡村事務補</p>
議事内容	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項 第3次滝川市環境基本計画（素案）について【資料1】</p> <p>※事務局より【資料1】について説明</p> <p>委員： 昨今、話題になっているメガソーラーの問題について、北海道で言えば釧路市、本州では山全体をいきなり伐採したというような話がある。環境面で見れば、計画の4つの分野のいろいろなところに絡んでくる問題だと思う。この問題に対して環境市民委員会として何らかの意思表示が必要ではないか。</p> <p>現状、釧路市の例を見ると事業を進めさせるための制度しかない。生活環境・自然環境の面から、住民が立ち上がったりしているが、事業者が強行突破しても文句は言えない。今やっていることは、書類の不足を指摘しているだけであり、裁判をしても行政の不作為という方向で、行政側が負けると思う。</p> <p>この計画で具体的に何か決めろというのは難しいと思うが、計画策定の先として、ある程度、この計画で意思表示をした上で、市がどこまで具体的に示すのかを検討する必要がある。環境市民委員会としては、この議論の中でメガソーラーに限らず、いろいろな再生可能エネルギーの分野に対して基本的な市の考え方や方向性を持ってほしい。</p> <p>事務局： 計画の19ページの市の取組内容に「大規模開発事業による環境影響の把握・情報収集に努め、適切に対応します。」として方向性は、記載させていただいている。この先、市としてどこまで踏み込めるのか、市が持つ権限の範囲でできることなのかを考える必要がある。基本的には、市として積極的に環境を守ろうということをこの計画に盛り込みたいと考えている。その後、実際に何が取り組めるのかは整理させていただきたい。</p> <p>委員： この問題についてあらゆる分野まで、この文言で網羅していると読める。本当に問題が発生したときに、矢面に立つのが市となると思うので、常に意識していた方が良くと思う。</p> <p>※委員へ1月30日を期限に意見を依頼</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月30日までに意見を募集し、意見を基に事務局で修正 ・ 2月下旬に市長報告・議会報告 ・ パブリックコメント実施（2月24日から3月13日まで） ・ パブリックコメントの意見を基に事務局で修正 ・ 3月開催予定の第7回滝川市環境市民委員会にて正本を配布 <p>(2) 今年度の環境市民大会について</p> <p>※事務局より説明</p> <p>4 閉会</p>